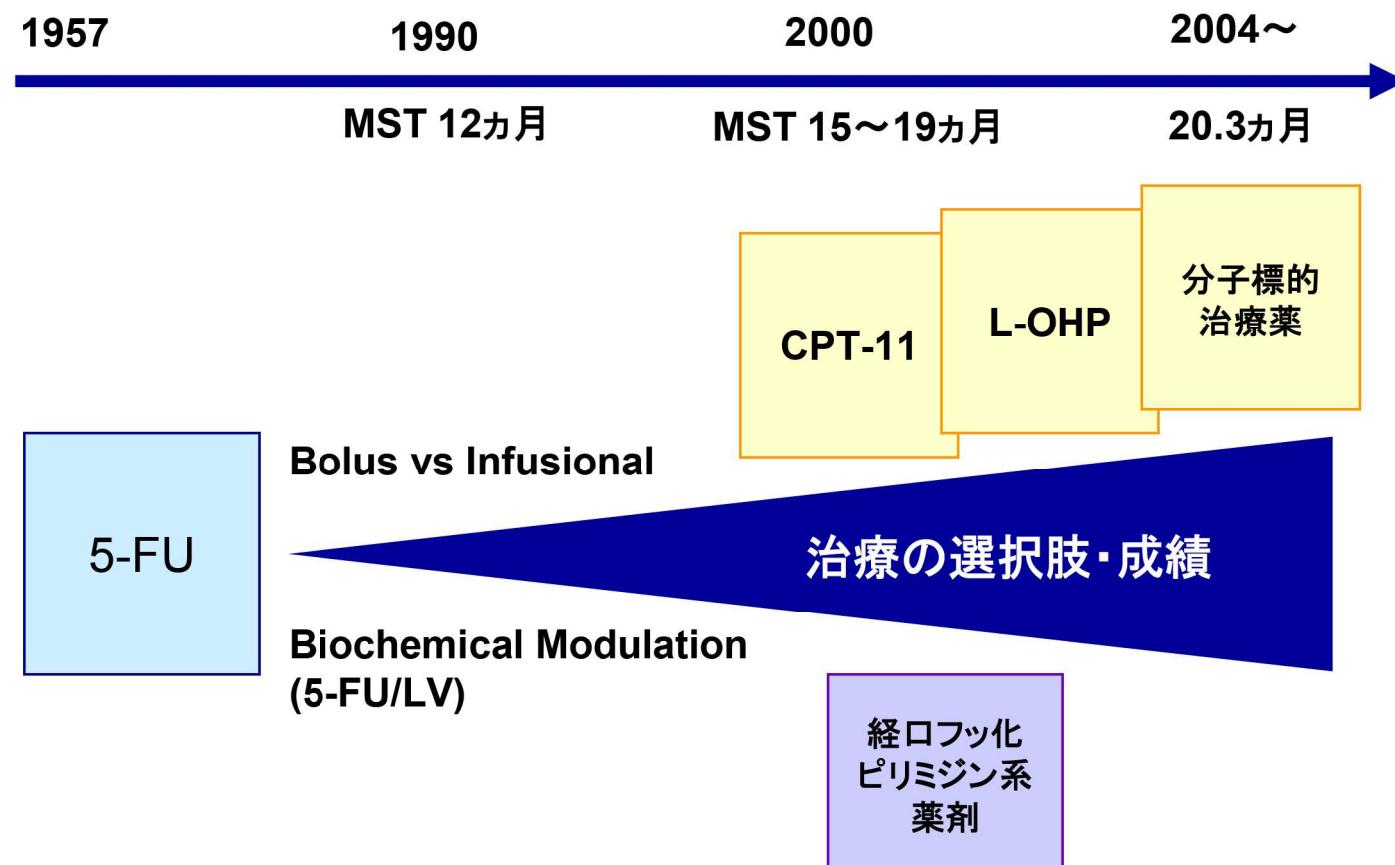
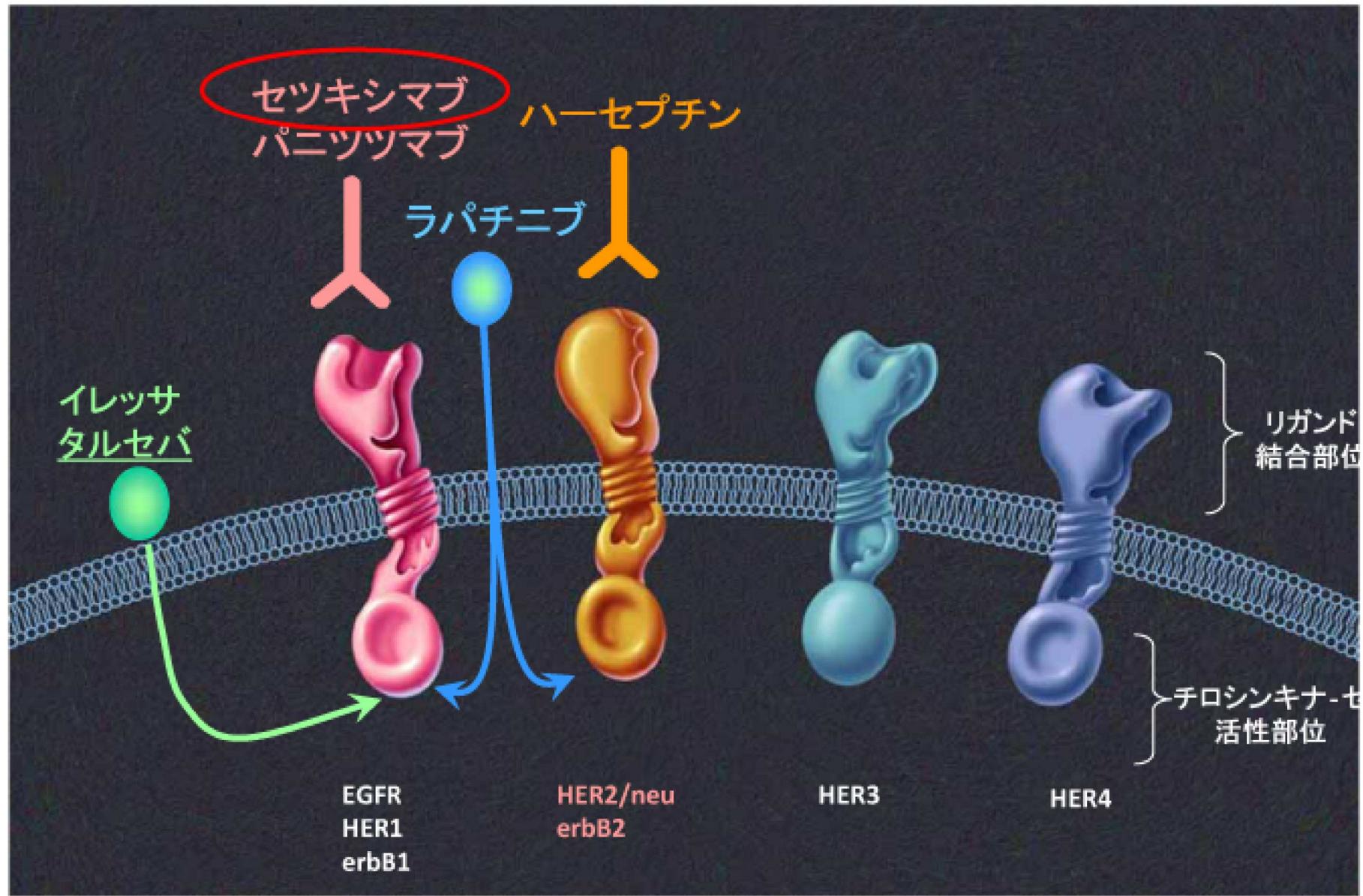


# 大腸癌化学療法の変遷

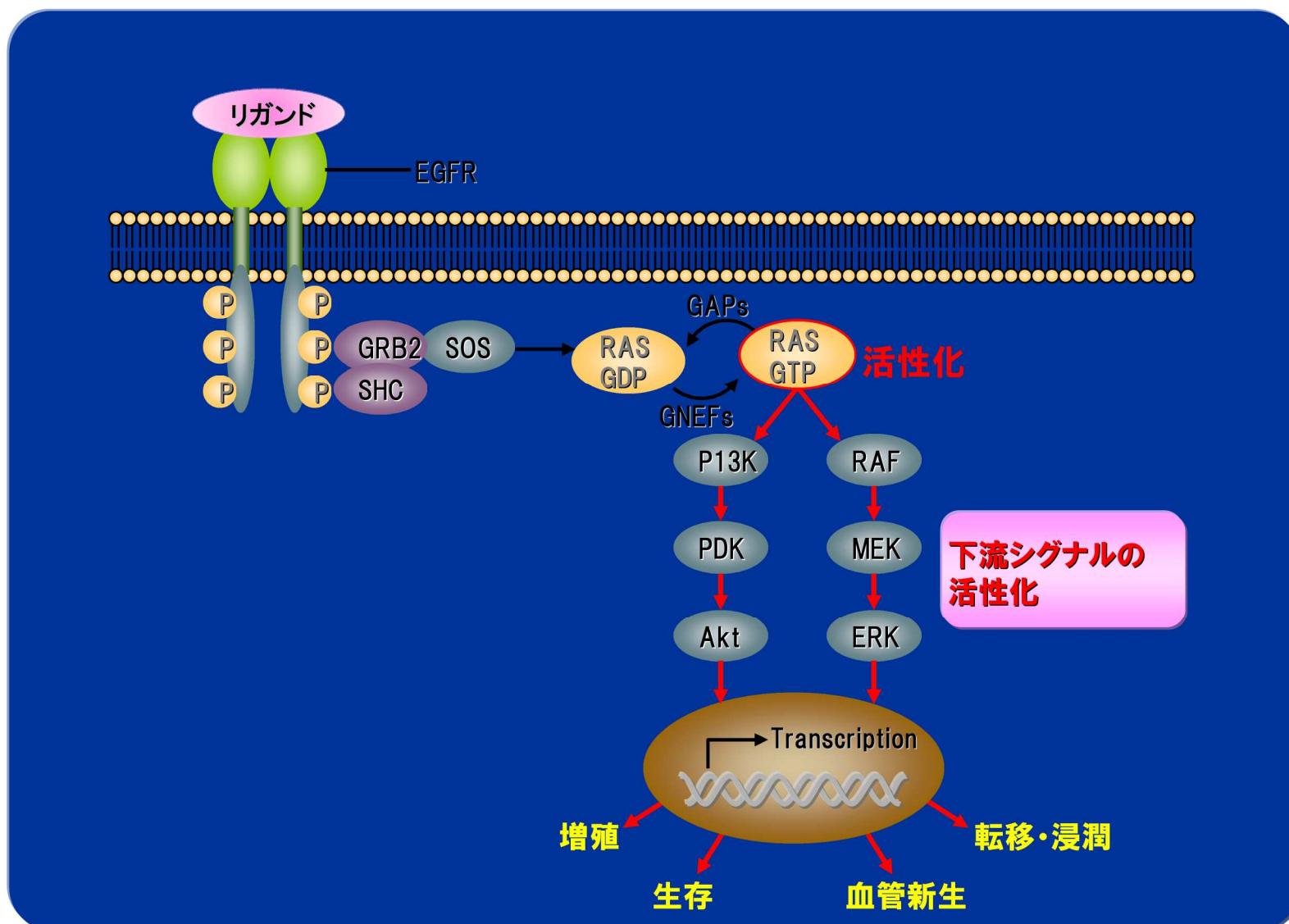


斎藤 聰: 臨床腫瘍プラクティス 1(2), 172, 2005より改変

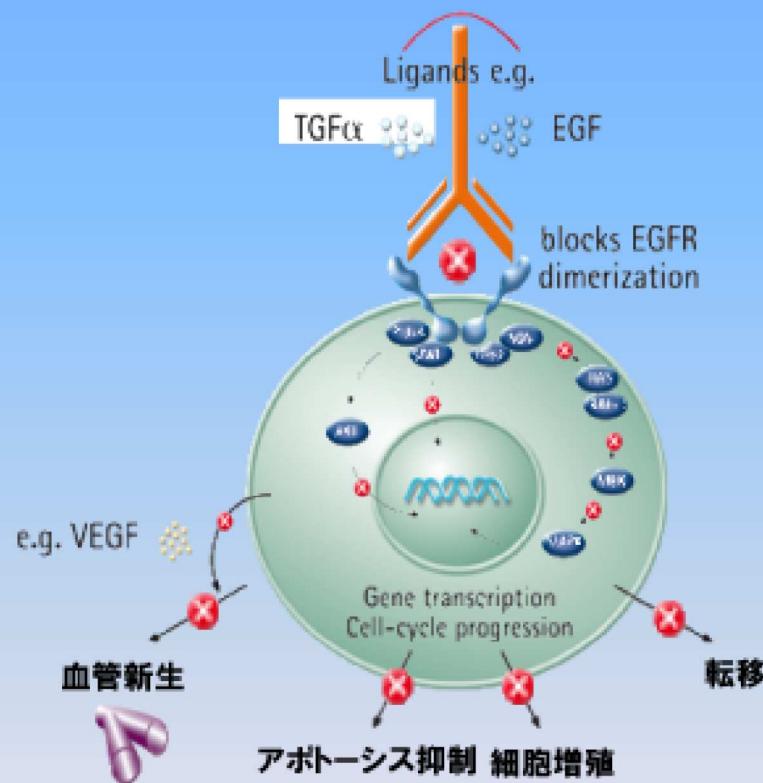
# EGFR/HERファミリーと分子標的治療薬



# EGFR と KRAS 遺伝子



# セツキシマブの作用機序



CetuximabはEGFRに対する  
ヒト/キメラ型のモノクローナル抗体である。

*KRAS*遺伝子が野生型の患者では、  
リガンドのEGFRへの結合を競合的に阻害することで  
下流のシグナル伝達を阻害し、がん細胞の増殖を抑制。

